

令和6年度 一年間の振り返り（施設の自己評価結果報告）

令和7年3月31日
社会福祉法人みどり会
八田荘第二こども園

◆全体◆

- ・保護者用の駐車場コンクリートが劣化していたため、張替工事を行った。
- ・6月に園庭遊具（小さな滑り台）を新調した。
- ・トラブル等があった際はすばやく対応し、職員間の連携（主幹や管理職への連絡や報告）も怠らない様に努める。
- ・認定こども園等の事故のニュースが増えているため、登園時の健康観察や出席チェック、降園時の人数チェックや引継ぎ等を再度見直し、こまめに確認するようにした。また、園外への飛び出しなどにも注意を払い、門の開閉についても保護者へ注意喚起を行った。
- ・地域行事やイベントにも積極的に取り組み、近隣の方との交流を図れた。
- ・園の行事は従来のやり方も残しつつ、各クラスそれぞれに合った内容を組み無理なく活動を行うことができた。

◆各クラス◆

【0歳児】

- ・今年度は人数が少なかったため、落ち着いた環境で保育を行えた。
- ・痙攣やアレルギーもなく、1年間安全に過ごすことが出来た。
- ・月齢の差が大きかったため、それぞれの月齢に合わせた活動をもっと取り入れるようにしたら良かった。

【1歳児】

- ・痙攣になりやすい子どもにダイアップを使う機会が多く不安だった。
- ・ルールのある遊び（ボール遊び、リトミックなど）を早い時期から取り入れていけるように考えていく。
- ・名前の記入がないものが多く困った。定期的に保護者に声掛けを行い、持ち物の間違いがないようにしていきたい。
- ・パーティションを増やし、コーナー遊び等で部屋の配置を変えることができた。子どもたちもそれぞれの好きな遊びをゆったりと楽しむことが出来ていたため良かった。

【2歳児】

- ・声掛けの仕方や見守りの仕方をクラス全体でもう少し考えたらよかった。
- ・配慮の必要な子どもへの関わりの難しさを感じた。それぞれに必要な支援や援助が出来るよう、保護者との面談等をしっかりと行っていきたい。
- ・職員の入れ替わり等もあり心配な部分もあったが、子どもたちは変わらず落ち着いていたので良かった。

【3歳児】

- ・室内の配置を変えたことで、子どもたちも落ち着いて過ごせていた。
- ・前年度からの課題であった散歩を今年度は増やすことができたので、歩くことにも慣れ、遠足でもしっかりと歩いていた。
- ・活動する時間と遊ぶ時間のメリハリをつけて、子どもたちが活動に集中できるような環境づくりをもっと考えていきたい。

【4歳児】

- ・個々に合った配慮がなかなかできなかったため、次年度はもっと一人ひとりの関わりを深めていきたい。
- ・全体的にメリハリをつけて保育ができたので良かった。
- ・鍵盤ハーモニカの取り組みが遅かったため、生活発表会が大変だった。次年度は4月から始められるようにする。
- ・絵画の枚数を増やすことができなかったため、枚数や内容など年間を通して計画する必要がある。

【5歳児】

- ・ワークは新しい教材に変わりやりやすかったが、進みが悪く個別で教えることが多かった。クラスでどのように進めていくのかを考えないといけない。来年度からは講師の先生が入ってくれるので、ワークだけではなく就学に向けて必要な文字や数字といった部分もしっかりと取り組んでいきたい。
- ・ケガが多く、予測できないこともあったため大変だった。子どもの動きをもっとよく見て動くようにしたい。
- ・チャレンジカードを作り、やる気や挑戦する姿につながったので良かった。
- ・今年度は小学校との交流を増やすことができたので、就学までにやっておくほうがいいことや、必要な物がよく分かった。
- ・卒園式の服装（体操服 → 自由な服装）や会場の飾りを変えるなどをしたが、保護者からも好評だったので良かった。